

# 構造物内部診断システム



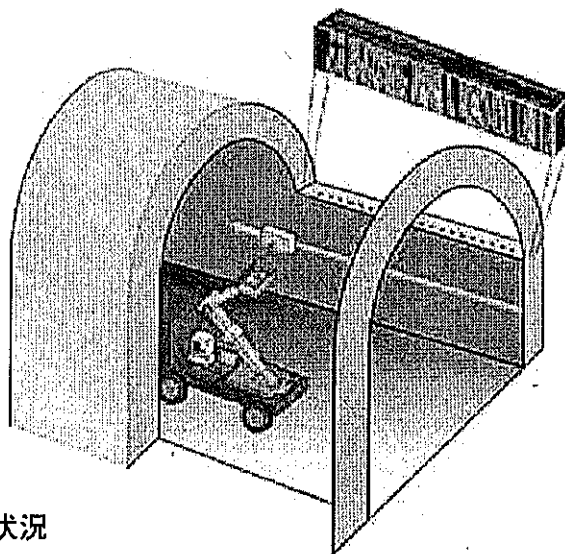
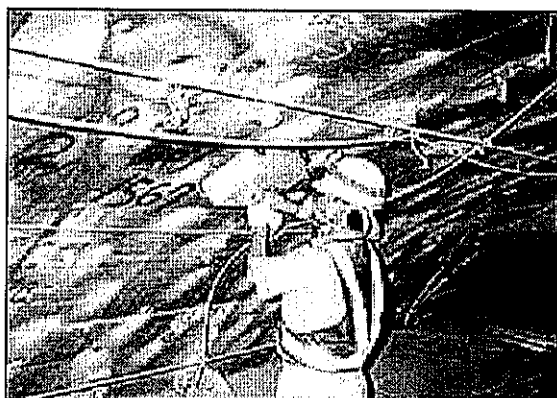
短時間、非破壊で構造物内部の空洞・亀裂を調査・診断するシステム

## お客様のメリット

- 振動ノイズに影響を受けず、非破壊で構造物内部の調査が行えます。
- 測定・解析・解釈を測定現場で直接行うことが可能です。

## 技術の特徴

- アンテナから発信されたパルス状電磁波は、構造物内に入射され、電気的性質（比誘電率）の異なる境界で反射します。この性質を利用して電磁波の反射波の振幅、位相から構造物内の鉄筋の埋設状況、亀裂や空洞の広がりや位置、トンネル覆工背面等を解析します。
- データ信号処理はコールバック形式で、ミュート処理、STC処理、振幅幾何補正処理、フィルタ処理、デコンボリューション処理、マイグレーション処理、信号強調処理などが手動で行えます。また、これらの各処理をランダムで複数回行えるように設定して自動処理が出来ます。
- 解析結果は、通常の2D表示だけでなく、視点変更可能な3D表示、さらに解釈の表示も可能です。



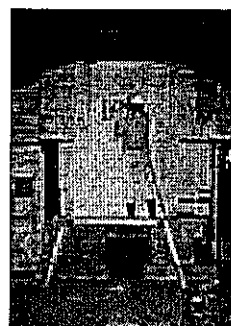
■診断状況

## 実績・事例

- 八潮トンネル（実験）
- 東栗子トンネル
- 自由学園明日館修復工事
- 低レベル廃棄物埋設工事



■自由学園レーダー側壁調査



■自由学園レンガ内計測